

rongorongongo

茨城キリスト教大学
文化交流学科

茨城キリスト教大学文学部文化交流学科 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-1-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-52-3493

自分の世界観が変わった

タイ・カンボジア文化交流体験

人生のプラス

要素

3年 小松大輔

07年度の「文化交流体験」は斎藤・染谷・岩間先生の3名引率の元、学生28名、卒業生1名の計32人で、2月20日から3月1日の11日間、タイ&カンボジアを旅してきた。今回参加した大半の学生がタイ&カンボジアに行くのは初めてであった。そのため出発前からみんなワクワクしていた。

タイに着いたときは凄く暑かった。空港からゲストハウスに向かうバスの車窓は日本とは違った景色であった。バスを降りた時、私は「凄い所に来た！」と感じた。猛スピードで走る車、自由自在に進路を変え



て走るバイク。路肩には多くの屋台があつて声を掛けてくる。一言で表すと『自由』といった印象である。適当という意味ではなく、自分の持つ個性がそのまま溢れているということだ。今回は私が印象に残った出来事を三つ述べようと思う。一つ目はアユタヤチャパット大学、日本語学科の学生との交流会である。10名程度のグループになつて一緒にご飯を食べながら流行の音楽や、お互いの言葉で挨拶をした。日本語・タイ語・英語の三言語が交わつたりして苦労もしたが、お互いボディーランゲージなどで伝え合おうと必死だった。

二つ目はタイからカンボジアへ陸路で国境を越えたことである。タイのアランヤプラテートまでバスで向かい、そこから歩いて国境を越えた。国境付近は何ともいえない緊張感が漂っていたが自分の足で国境を越えたという感動は忘れられない。カンボジアのポイペ

【8面中段に続く】

陸路で

国境越え!

3年 寺門加奈

この旅に参加した目的は、もっと世界を見てみたい!肌で感じたい!その空間にいたい!という漠然とした想いから。私自身も去年は韓国に何度も足を運んで日本以外の国の魅力にはまつていつて、行けるとき

に行つておきたい!というこの好奇心が私の原動力だった。

タイとカンボジア:10日という滞在期間の中で二つの国を巡り、しかもその国境を陸路で越えるなんてなかなかない体験だと思う。国境を越える前の日、「みんな手でつないで渡ろうね!」と話していたが、実際に国境を越える瞬間は思い描いていたものとはかけ離れていた。

先生から注意は受けていたが、現地に來てからタイではそんなに経験してな

かった子どもたちの物乞いを目の当たりにした。服もボロボロで、裸足で寄ってくる子どもたち。その姿を見るだけでも胸が痛むのに、目を合わせるのを避けている自分、話し掛けられても反応をしない自分、こうすることしか出来ない自分が冷酷に思えてしまった。

それでもカンボジアに着くと、温かいたくさん笑顔にも出会うことができたら。街の人々、ガイドの人たち、そして何よりもたくさん

【2面下段に続く】

特大特集!!

実際に授業を取った学生の感想集です。賢く選んで楽しく学ぼう! 教員の自己PR付き☆☆

学生の目で授業ウオッチング

藤田・斎藤 文化交流論

【1〜必】

◆この授業は前半と後半というふうに2人の先生が講義を行います。まず前半の藤田先生の講義では、世界の人口や言語の分布、その土地独自の食べ物など多くのことを知り、自分の視野を世界まで広げることができました。後半の斎藤先生の講義ではバックパック旅

行やアジアの国々のことについて学びました。その中で旅の計画書作成やアジアの暗記テストなど課題が多く大変でしたが、とても興味深いものでした。

堀口・染谷 地球市民論

【1〜必】

◆後期の授業ですが、2人の教授の授業が受けられます。前半は堀口先生によ

る文化接触の観点から日本語教授法を学び、後半は染谷先生による「文化ネットワークにおけるメディアとは何か」を学びます。前半では日本語教師資格についての説明だけでなく、実際に外国人に日本語を教える際の注意点なども学ぶことができます。後半では、メディア社会の展開をたどりながら、これからの私たちのコミュニケーションのあ

【2面以降に続く】

08年4月号目次

1面

◆文化交流体験報告

1〜5面

◆教員紹介・授業感想

6〜7面

◆佐々木冬流先生に聞く

8面

◆中国留学生帰国

◆編集後記

【1】内の表記

1〜 1年次から履修

必 必修

選必 選択必修

選 選択科目

資格関連 資格関連科目

他学科 他学科科目

★教員名の色分けは、学科専任教員 **オレンジ** その他の教員 **青色** となっております。敬称略。

★今年から履修登録をオンラインで行うことになりました。履修サポーターが手伝ってくれます。わからないことがあったら、すぐ相談!!

【地球市民論続き】

り方や、ネット社会がどうなっていくのかを様々な例から考えていきます。

◆日本文化について身近に感じることができた。映画監督の方や中国の大学院から帰ってきた卒業生のゲストトークは実体験に基づいた話でとても新鮮だった。

◆文化交流論と地球市民論の2科目を、通年で4人の先生が講義。どの先生も変わった先生が多いと評判のC科らしく面白い授業だった。なかでも染谷先生の授業で題材になったメディアの歴史は印象的だった。

猿田知之による猿田知之

無趣味、茫然

専門は、日本語学で、とくに日本中世(鎌倉・室町)期の研究をしております。

この時代の漢語研究に近時かたよっているようです。とくにこれといった趣味もなく、茫然として毎日暮らしているのが現況です。



岩間信之による岩間信之

私の勲章

私の最初の勲章は、小学校1年生のときに貰ったオール1の通信簿です。私は超就職氷河期世代です。大学院を卒業しても職に就けず、2年間非常勤講師(いわゆるバイト)をして暮らしました。1週間で1都3県を巡回し、様々な大学の教壇に立ちました。授業90分、通勤片道3時間という生活です。私は論文を多数執筆していますが、その多くは移動途中の電車の中で書いたものです。この2年間も私の勲章です。



岩間信之

基礎演習

【1選必】

◆ゼミのみんなで鉄道博物館に行った。とてもワクワクっぽかった。鉄道のジオラマや電車の構造についていろんなことを知ることができた。行って良かった。

地球ウォーキング演習

【3選必】

◆日立市の観光を中心に、観光とはどのようなものか自分たちはどう影響するかなど、面白い視点から授業が展開した。日立鉱山についてはとくに歴史が面白かった。

◆茨城は観光という面で見ると、とぼしい所だと思っていた。しかしこの授業では、茨城の観光地について調査し、観光客を増やすためにどうすればいいかを考えたりした。私が思っていたより、茨城にも観光地があり驚いた。この授業を通して楽しいです。

猿田知之

言語学

【1選必】

◆最初は座席指定だったのですが、授業内容がとても興味深くてすぐに大好きになりました。私たちが日頃使っている言葉の源を教えるのもらっているの、私たちが人間にとって一番共通の勉強だと思えます。

◆言語学の授業では、その名の通り言語について学んでいきます。様々な言語の特性、成り立ち、他言語との比較、同じ言語の時代による

通して改めて茨城の良さを知ることができた。

環境と開発

【3選】

◆食材に関することや、遺伝子組み換えについて、クローン技術の問題など、難しいと思っていた内容がとてもおもしろく感じられて興味を持ちました。毎時間新しい知識が増えるようでした。

◆パワーポイントを使用した授業で大変分かりやすい。ツバル水没危機話や、国産車及び外国車の燃費やCO₂排出量クイズなどもありおもしろかった。また、世界遺産のビデオを見せていただいたり、メディアを多く使用した授業は退屈しない。

◆身近な環境問題から、国々の環境問題まで幅広く学習できました。

言語教育

【資格関連】

◆敬語の使い方、熟語の読み方などを問題を解きながら楽しく覚えちゃえます。茨城弁を自分ではどれくらい知っているのか、茨城出身のアナウンサーが少ないのはどうしてかなどちょっとマニアで楽しい題材も印象的です。教師になった時に遭遇しうる問題にエレガントに対応するすべも学べます。

日本語の歴史

【資格関連】

◆時代によって日本語が変化していく様子が分かり、興味深かったです。

【文化交流体験・1面の続き】

さんの子どもたちの笑顔に逢えたことが嬉しかった。地雷博物館の前にいた子どもたち・孤児院にいた子どもたち・ペンメリアにいた子どもたちの笑顔が見ただけで、なんか救われたような気がして心がすごく温かくなった。

タイでもアユタヤ大学の学生との交流がもてたことが、とても楽しかった。日本語学科の学生で、なんといっても積極的に。学校を後にした私たちを追いかけてきてくれて、アユタヤを去る最後まで一緒にいてくれた。そのストレートな行動力や素直で飾らない姿がとても魅力的だった。

タイとカンボジアについては率直に思ったことは、タイは「すごく都会だ」ということ。街は高層ビルが並び、大きな道路に走っている。



る車はトヨタ車がほとんどで、初めは海外に来た気がしなかつたくらいだ。タクシーやバスは色もカラフル。街中も賑やかで、様々な国からの観光客で溢れている。また、街中の至るところに国王の肖像画や写真が飾られていて、仏教の強い国という事実も体感できた。

カンボジアはタイとは全く違う雰囲気だ漂っている、中心地は観光化されて発展している、少し小道に入れば道路状態、民家の形式など景色はガラリと変わってしまう。生きていくということをとっても考えさせられた国だった。

たくさんの人達に出会って、日本には出来ないような経験をして、様々なことを感じる事が出来たこの11日間の旅は、私にとってかけがえのない旅になった。



堀口悟による堀口悟 専門づくし

第一の専門は、日本の伝統文化です。特に、「香り」文化に関して研究しています。「香道」を通して、日本人の心のあり所を探ろうと思っています。また、「小倉百人一首」を通して、「競技かるた」の文化と日本の和歌文学との融合について考えています。第二の専門は、平安朝日本文学、第三は外国人に対する日本語教育、第四は日韓比較文学です。

堀口悟

日本語学各論Ⅰ（音声）

【資格関連】

◆実際の試験形式にリスニングをしたりするなど、充実した内容の講義を受けることができました。

母音、子音のほかに破裂音など、日本語を音声の視点で見ると色々な種類になっています。日本語教師を目指している人だけではなく、日本語の発音に興味がある人にも受けていただきたい授業です。

斎藤聖二による斎藤聖二 日夜精進

教員としては、「鬼ノ斎藤ハチョー恐工一」、デモ授業ハ面白レー」と言われるよう日夜精進しています。研究では、人は歴史構造の中で自分の役割をこなすために苦闘する、という視点に立って、「構造変移」を跡付ける研究力・叙述力の修得のために日夜精進しています。それらにコツコツ専念できる環境作りにも日夜精進しています。

斎藤聖二

文化ネットワーク実習

【1〜必】

◆PCの基本から入った授業なので少し最初はつまらなかつたけど、先生自体がとても面白い人だったので徐々に好きになっていった。HPを作ったりパワーポイントを使ったりと授業も充実していたと思います。

◆授業は初心者へのペースに合わせた進められます。分からない所があれば丁寧に教えてくれるので、置いて



細谷瑞枝

基礎演習

【1〜選必】

◆1年間かけてひとつのレポートを作りながら、レポートの書き方について実践的に学んでいきます。出来上がったレポートを発表します。プレゼンテーションも学べるこの授業は特に1年生にはおすすです。

◆「レポートの書き方・発表の仕方」を学ぶ授業。1年の私は、レポートの書き方が情報収集からまとめ方など全く分かりませんでした。この授業はレポートのテーマの決め方から発表まで細く指導していただき、1年のうちにこの授業を履修して本当に良かったです。レポートは大学では誰も経験するので、

日本史

【1〜選必】

◆斎藤先生の授業は今までに習ってきた様な年表を覚える学習とは違い、歴史の中身について詳しく説明されていきました。初めて知り驚いたことがたくさんあり、とても為になりました。

◆私のイチオシの授業です。歴史は全体を見た方が面白い！しかも高校までに習った日本史とは全く異なった内容で、毎時間楽しみで仕方がありませんでした。声を大にして言いたい事です。すっごい面白い授業だった!!



どうなるか

細谷瑞枝による細谷瑞枝
専門はドイツ語、ドイツ文学。でも、ドイツ語を専攻したのは偶然、さらに学生時代

履修して損はないと思います。

ドイツ語Ⅰ

【1〜選必】

◆ドイツ語について基礎から丁寧に教えていただきました。また授業の合間に、先生がドイツでの実体験を話してくれたりしたので、ドイツの文化や習慣を知ることができました。

言語コミュニケーション実習

【3〜選必】

◆物語を様々な角度から見たり、世界のお話との共通点を探したりして面白かったです。話を面白くする役割の「トリックスター」という言葉も初めて知ったし、時代の背景から見られる特徴

は「こども向けのお話でしょ」と馬鹿にしていた昔話の中に民族の個性を見つけ出す研究に取り組んでいる、いま。人、どこでどうなるか分からないよねえ、の見本です。

や傾向もあって、知っていたお話も改めて読み直すことができて良かった。

事実だから

佐々木冬流による佐々木冬流
『ロンゴロンゴ』に「文化交流学科の長老」と書かれてしまった。事実だから文句もいえない。それほど（年のこと）でもないと思っっている

佐々木冬流

日本文化史

【1〜選】

◆農耕信仰や武士道、氏神信仰などといった日本の文化について多くのことが勉強でき、また、特に冠婚葬祭では文化人類学の授業で勉強した宗教人類学にも重なる部分があり面白かったです。

◆すごく一つ一つの説明が上手で、この授業を受けてよかったです。またこの授業を受けたと思います。

近代日本思想

【2〜選】

◆「近代（特に明治〜大正）の日本人がどんなことを考えていたか」ということを

ように思ったかを発表する。この授業は自分の意見を発言するの力が付くし、他の人の意見を聞けて勉強になります。

が、いつからか鏡と写真が嫌いになったことは事実だ。近年は年寄り？だから優しくなろうと努めてきたが、学生がつけ上がって怠けるから、今年是小言幸兵衛に変身する予定だ。

日本語と社会

【資格関連】

◆日本語の特色について日本人の性格なども交えながら分かりやすく説明してくれます。授業のたびに自分が使っている日本語を見直すことができました。



森謙二 社会学

【1〜選必】

◆パワーポイント・先生の著書を使う授業でした。科目名からすると、難しい授業なのではと思いますが、現代の社会問題（核家族化、晩婚・非婚化、少子高齢化、格差社会など）がなぜ起こり、今後私たちにど

う影響していくのかがよく分かり、「どうすれば社会は良くなるのか」と考えさせられました。

基礎演習

【1〜選必】

◆自分でテーマを決め時間をかけ資料を集め、それを分析する。高校までの与えられたものを覚える勉強とは違い、主体性が問われる。テーマに向き合うのはあくまで自分自身だが先生からの的確なアドバイスは心強い。正直辛いと思う事もあったが、大変な分確実

に身になると思う。

キャリア・デザイナー・II

【1〜2選】

◆茨城新聞、茨城放送、ZBC、竹人形工房など様々な社会の人達からお話を聞くことができます。自分が職業選択をするにあたっては、はずせない授業。

◆5限の授業のためか、10人ほどの少人数制になっていました。外部の方々

(PPO・竹人形職人・味噌屋・BS・茨城新聞)を招き、「働く意味、社会が求める人材・学生時代、何を学ぶべきか」

などを学びました。「働く」ということに対して、漠然としていてどうしたらいいんだろう...と思っている人におすすめてです。「今、自分は将来のために何をすべきか」分かってきました。

比較宗教論Ⅰ・II

【2〜選】

◆日本の社会、特に近代から現代の形成について学ぶことができます。内容は濃く、通常の歴史とは違った観点から社会形成を学べます。森教授独特の講義なので一度は受けるべきかと。

藤田悟

基礎演習

【1〜選必】

◆最初の授業で発表したときは、5分間の発表のために1時間以上準備が必要でした。日本語で話すのといっぱいいっぱいなのに、人の前で日本語で発表するなんて...と思いました。しかし、他の人の発表を聞きながら、自然に自分の意見も話せるようになり、発表の回数が増えてくると発表の準備時間も自然に減ってきました。この授業のおかげで私の日本語も、考えの深さも結構成長した気がして本当にうれしいです。

比較教育論

【2〜選】

◆藤田さんの基礎演習に最初出たときは、発表ばかりがあると聞いて、嫌になった。発表とかをするのが苦手な人前に出ると頭が混乱してワケが分からなくなってしまうからだ。しかし、何回か数をこなすうちに、まだ緊張はするけれど少しは発表への抵抗がなくなってきた。発表が多くて疲れただけ、その分発表への恐ろさがなくなったと思う。

ちゃったが、良い形式だったと思う。

情報ネットワーク演習

比較教育

【3〜選必】

◆このゼミは人前で話す力が身につくゼミだと思います。毎回5分間の発表があり、学期末には15分のプレゼンテーション形式の発表をします。就職活動にも役に立つゼミだと思います。

◆私は今回、日本とアメリカのコンピュータ教育と音楽教育の比較調査を行って、改めて日本の教育システムの統一感に驚かされた。統一的と考えられると、最近では個性が無いなどと否定される面が目立つが、逆を言えば格差が小さいとも言えるのである。日本の学校教育は教育内容や学校の設備や教師の質においてもそれほどの差は存在しない。もちろんアメリカの教育の良さもあるのも認めるけれど、予算不足からトレットペーパーや石鹸を持参させる学校があることを考えると、デメリットのほうが多いと感じる。



志賀市子

文化人類学

【1〜選必】

◆人間の文化的な起源とは

半信半疑で聞き

志賀市子による志賀市子

文化人類学、中国文化史、中国語などを担当。

専門は華人宗教の文化人類学的研究で、現在は中国の広東省や台湾やタイなどで道教やシャーマニズムの調査を行っています。ここまで読んで、華人って何？道教って何？シャーマニズムって何？意味わかんない、そんなの聞

いてないと思った人は、いますぐネットか辞書で検索してみてください。それでふーんと思った人は私の授業をとってみてください。授業をとったら、居眠りはせず、私の話は半信半疑で聞き、実際に自分の眼で確かめに行ってください。

◆文化について多角的に学んでいく文化交流学科らしい授業だと思えます。婚姻・医療・死について他国の事例を挙げながら文化的な違いを学ぶことが出来ます。

中国文化史

【2〜選必】

◆中国に関する様々なビデオを見てきたが、中国の格差についてのビデオが一番

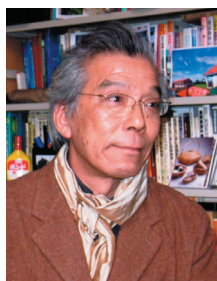
印象に残っている。子どもたちが望んでも学校にすら行くことができないという面と都市部では繁栄し続けているという面を知り、中国社会が抱える光と闇を見た気がした。

◆この一年間、中国文化史の授業を受けて、私の中国に対するイメージが変わりました。中国は攻撃的で我が強く、貧しいイメージを持っていたのですが、私が思うよりも優しい国のように思いました。授業を通して、貧困問題とアイデンティティについて特に興味を持ち考えさせられました。

勘違いの若手

藤田悟による藤田悟

最近までずっと大学の若手教員だと思っていたんですが、勘違いでした。担当者として自分で気に入っている授業は、比較教育論、それ系のゼミ、それから世界の英語かな。気が多い方なので、他のものもそれなりに楽しんでやっています。カンボジアに行ったり、アジアンバザールとか...結構いつでも走っている感じですね。



◆視野の広がる授業だった。先生というより学生の考えを引き出す感じで、個人の考えや経験談などが多く、教育に関して親しみを少しもてたように思う。レポートも多少ぐだぐだし

も言えるのである。日本の学校教育は教育内容や学校の設備や教師の質においてもそれほどの差は存在しない。もちろんアメリカの教育の良さもあるのも認めるけれど、予算不足からトレットペーパーや石鹸を持参させる学校があることを考えると、デメリットのほうが多いと感じる。

普段私たち日本人が何気なく享受している学校教育というものを比較調査することで、改めて良さを認識

し直したり、発見があったりする授業であり、多面的な見方、考えを身につける上で役に立つと感じた。

世界の英語 I

— 母語話者の英語

【1〜選 (他学科)】

◆ 世界各地の英語を知る機会が全然なかったので、とてもためになる授業でした。スコットランドや黒人英語の発音が印象的でした。毎回あるテストは難しかったです。

世界の英語 II

— 非母語話者の英語

【1〜選 (他学科)】

◆ いろんな英語があつて、「これが正しい英語」っていうものはないんだということが分かり、授業はとってもおもしろかったです。

◆ 日本は、日本語が話せば生きてゆけてしまう国で、それはそれで良いのですが、この授業で出てきた国々のように、他の言語で話さなければならぬという状況があるのは、ちょっとらやましいと感じました。大変かもしれないけれど、母語以外の言語も話せるようになるんじゃないですか。そういうのって、良いことだと思います。

染谷智幸

文化ネットワーク実習

【1〜必】

◆ この講義では基礎からのパソコンの操作、技術を学ぶことができません。パワーポイント、ワードなどを中心に初心者にもわかりやすく丁寧に教えてくださいます。染谷先生の軽い冗談を織り交ぜつつ進む楽しい講義は、1年生に特にお勧めの授業です。

IT表現論

【3〜選必】

◆ 最先端のITを見に行こう！というところで東京ビッグサイトへ「国際ロボット展」を見に行つた。その後別行動で携帯、PC等の調査をした。みんなでまとめて調査に行き、発表する授業は面白い。今年でこの授業はなくなってしまう

鉄ちゃん

染谷智幸による染谷智幸

57生。上智大学卒。俳号・獄雨。専攻は日本文学、特に江戸時代の小説、最近では韓国の古典小説にも興味を持ち、日韓の比較文学研究も。

さらに最近、鉄ちゃん(鉄道オタク)になりつつあり、鉄道模型を物色中。

鉄道模型を物色中。

と聞いたので非常に残念です。

アジア文化論(後期)

【1〜選】

◆ 移民(特にコリアン)についての歴史、問題、課題について先生自身が韓国人でもあるため、授業を受けているだけで、文化交流(カルチャーショック)を受けていると思う。

情報ネットワーク演習

【3〜選必】

◆ このゼミでは「日韓文化比較」をします。前期は二人組、後期は一人でパワーポイントを用いた発表をします。韓国交換留学生もゼミに参加しているので授業の初めに韓国語を教えてくださいました。先生の教え子で韓国に留学している方が特別ゲストでお話しを聞かせてくれることも多くあり、色々な角度から隣国を知ることが出来ます。染谷先生は飲み会や鍋パーティーも企画してくれるので先生との距離も縮まります。

李里花

アジア文化論(後期)

【1〜選】

◆ 移民(特にコリアン)についての歴史、問題、課題について先生自身が韓国人でもあるため、授業を受けているだけで、文化交流(カルチャーショック)を受けていると思う。

環太平洋の文化

【2〜選】

◆ ハワイの日系移民の話を中心に、ビデオや写真、映画などを使って歴史的背景や文化など広い範囲で学ぶことができ、また授業も興味をそえられる内容で大変楽しかった。

諸星政得

考古学

【1〜選必】

◆ 縄文時代、旧石器時代、弥生時代などを詳しく教えてくれたので良かったです。とてもためになりました。

◆ 今年度は旧石器時代から弥生時代までの歴史についてを学びました。驚いたのはその資料の量です。多いと一回の講義だけで十枚以上あります。資料に掲載さ



れている遺跡からの出土品や地図、図説を見ているだけでもわくわくしてきます。先生自作のノートも情報量たっぷりです。ためになります。

博物館実習

【資格関連】

◆ 先生は学芸員の仕事について熱意をもって講義していただきました。紫綬褒章も授与されました。

村上志保

東洋史

【1〜選】

◆ 「宋家の三姉妹」の映画が強く印象に残っています。同じ家に生まれながらも嫁いだ家によって関係が変わってゆく姉妹の心情と葛藤は、人の絆の強さと時代の悲しみをわかり易く表現していたと思います。

任利

中国語

【1〜選必】

◆ 中国語の文法はもちろん、中国の映画や音楽も見たり聞いたりしたので飽きないで学ぶことが出来ました。

池田裕

中国語

【2〜選】

◆ 中国語を勉強するのは、大学に入って初めてだったのだが、先生の教え方がわかりやすかった。中国語の映画や曲を多く見たり聞いたりすることができて楽しかったです。

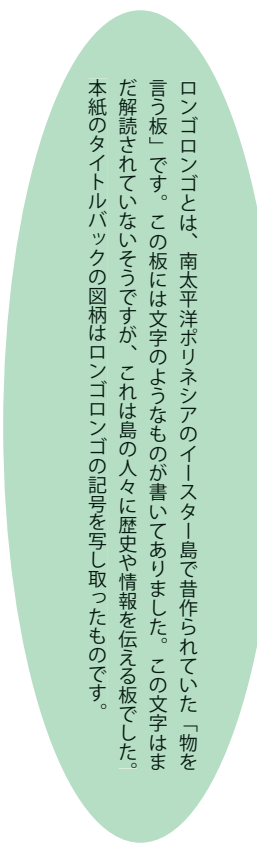
安藤博

日本国憲法

【1〜選必】

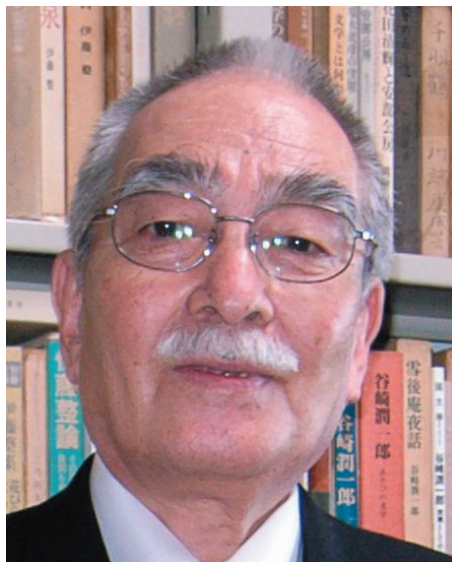
◆ この授業を受けるまで

「憲法」堅いイメージでしたが、講義を受けていくうちに憲法って面白い!と思うようになりました。特に、先生の著書の『子どもへの危機にどう向き合うか』という本を使い、私たちの生活に密着して考える時間は本当に考えさせられました。



ロンゴロンゴとは、南太平洋ポリネシアのイースター島で昔作られていた「物言板」です。この板には文字のようないくつかの穴が書いてあり、この穴はまた解読されていないようですが、これは島の人々に歴史や情報を伝える板でした。本紙のタイトルバックの図柄はロンゴロンゴの記号を写し取ったものです。

佐々木冬流先生に聞く



前篇(本紙1月号)では、ご担当の授業のことや日本語の特徴、さらには学生時代のことなどをお読みいただきました。

後篇

俗文学」だ。戦後のある時から、純文学の流れがとどえて、通俗文学が主流になった。現代は特に、そういうものでなければ売れなくなってしまうたな。

◆現代文学の中で先生がこれに良いなと思う作家とか……現代のものは何を讀んでもつまらない。パソコンで書くからみんな同じよう

で、「手軽に素早く、ちょっと刺激的なことを書く」と、そういう感じがする。

現代のものは

とところで、いつのまにか小説の世界そのものが変わっちゃったね。明治末期からの流れで「純文学」という言葉がある。それに対するのは「露骨なことを書けないか

本気で作品を書くこうすると、自分の精神がそこに投げ込まれるから、その

書いてはならない

最初は小説家志望だった。小説はいろんなこと書かなきゃ小説にならない。例えば、いい人だけ、そういう小説もあるんだけど、そんなに面白くないな。良いやつと悪いやつがいるから面白くなる。

いつの間にか小説の世界

そのものが変わっちゃったね

な部分を載せたんだらうって思っものがある。最近の作家を読んでみようかなと思っいろいろな買っくるんだけど、結局パラパラとめくって終わりがな。

文化交流学科の第二回の卒業生がたまに来る。その卒業生の話によると、現代作家を育てる会社があるんだそうだな。いろいろ投書して、書き直しの指示が来て、訂正して送ってやると、そろそろ自費出版しないか、と催促が来るんだそう。どっかで反省の時期が来なきや困るよな。

万葉集が面白い

古い文学のお薦めでは万葉集を讀めと言いたいな。注釈のたくさんついたやつでいい。万葉集は原始に近い時代のころから、人間性が近代化されたときまでの作品がいつしよくたに収まってるから面白いんだよ。

◆万葉集から学生に汲み取ってほしいことかかってあります。

「現代人と変わらないじゃないか」とか「ああ日本人だ」というような感覚かな。

のちの歌集、古今集、新古今集なんかになると、ひねりにひねるから、現代人には理解するまでが大変かもしれない。

万葉集はわりと素直に表現されてるから捉えやすい。

万葉集の作家。まず山上憶良。それから一番近代的で、我々にもさらさらっと解きやすいのは、大伴家持。あと万葉集ならば、入門書みたいな物がたくさんある。学生は時間があるんだからいろいろ読んでみる

文庫本でも結構いろいろあるんだよ。注釈と脚注があるから、今は読んでみたらいいなと思う人があれば、手軽に読める時代だからな。

先生は嫌いな職業だった

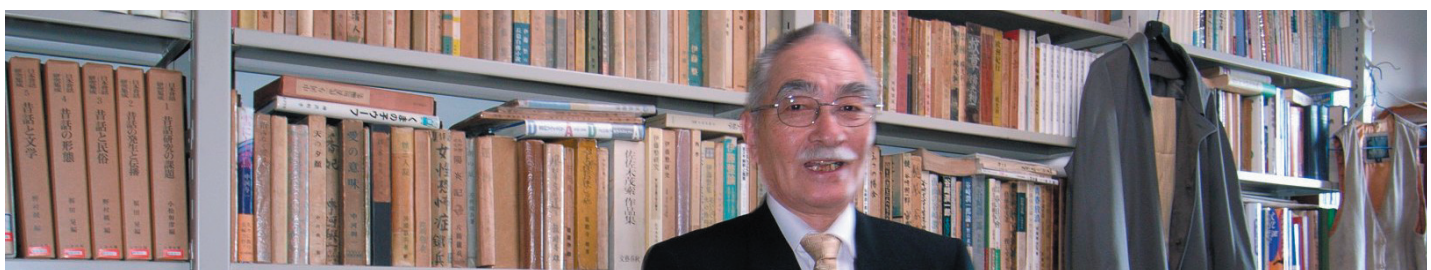
◆教員になるまではどういった……

教員になろうと思っいたのは大学院に入ろうと思ったから。あのころ東京では大学院に通ってる人の中高の非常勤がはやってい

た。高校あたりの先生になれば非常勤でも自分で生活できる。うちがそんなに豊かじゃないから、大学院に行くならば「先生にならなきやいけないな」と。

先生は僕が子供のころ3番目に嫌いだっ職業。1番嫌いだったのは医者。2番目が巡査。あのころは警官って言わないで、巡査、お巡りさんって言った。僕の4つ5つくらいの頃の警官だぞ。腰にサーベル下げた、そのお巡りさんが裸踊りしてるところを見ちゃったんだよ。上半身裸で、下はちゃんとズボンはいてた。上半身裸なんだけどサーベルだけは外さないで踊り跳ねるから「ガチャ、ガチャ、ガチャ」って音がして。あれ見てたらもう嫌になっ「お巡りさんだけはなるまい」と。3番目が先生(笑)。でもその3番目に嫌いな先生になっ

◆この学校にはどのくらい前からおられるのですか。



——35年ぐらいただと思うんだけど。最初に短大に来てからだよ。

生まれは北海道。網走郡津別町ってとこだよ。凄い片田舎だ。家は農家だよ。大学に入るので東京に出てきた。大学は立教。

溪流釣り 山登り

◆ご趣味とかは？
——家にいるときはカミさんの買い物のつき合い。庭の片づけ。授業の準備とか、その他いろんな意味での仕事。

われわれの仕事は研究室でするのは少ない。家にいるときのほうが仕事の時間なんだよ。そういう意味じゃ作家に似てるかな。大いに週3日か4日来てるだけで「いいな」って言われるんだけど、そのほか全部仕事の日なんだよ。若いころは休みなんてほとんどなかった。

溪流の釣りをやったんだよな。3年間鹿兒島にいて、友達がボート持ってたから、それで沖へ出ると立派な魚が取れたんだよ。こっちでは船を持つてる人いないから海はやめて溪流一本になった。近場というところ

奥会津。ここ10年近くやってないかな。夜中に家を出て、尾瀬の裏のほうに着くのに車で3時間半くらいはかかった。それで釣りをした、夕方帰途につくから疲れる。7年前入院してからは、もう釣りはやってない。

短大時代はずっとワンダーフォーゲルの顧問をやった。学生と毎年何回か山に登ってただけで、定年になつたら少しハイキングぐらいして、ボケ防止のために体を動かそうと考えてる。

◆ここ「研究室」にある本、全部読まれたんですか？
——研究者にとつて本つのは資料なんだよ。だから買つてもバラバラつとしか見ない本もある。漢文のシリーズはほとんど念のために持つてる。調べ物に使うことがあるけど、もちろん隅から隅まで全部読んだ、そういうった全集本も少なくはない。

古い文学のお薦めでは、学生に言いたい

◆学生に対しておっしゃりたいことは？
——学生に望むことは「やるべきことをもう少しきちりやれ。」人によりけりだけど、やるべきことをやらないで、やらなくてもいいことをやってる連中が多いだろう。

それから「本を読め。本を読まなきゃダメだ。」本つていうのは目で読む。口に出して読むのが一番いいんだけど。読むということは、脳を使ってんだよな。そして自分でやっぱり手を使って文章を書く。頭を使って目を使って、手を使うんだ。自分の言いたいことがそれでどれだけ表現できるかだ。

原稿用紙一枚書いて、そのまま、「あーできた素晴らしい」という人はおそろしくない。かなりの慣れた人、プロだつて、みんな手直りするんだ。考えながら手直するだろ、そこでますます頭を使う。だから本を読むこと。自分で文章を書くこと。

万葉集を読めといたい

それと、「インターネットに頼りすぎるな」ということがあつた。インターネットは便利だよな。もう何年前だったかな、ある学生のレポートに結構いいことが書いてあるんだ。「これはどういうこと？」って聞いて話しているうちに、どうもおかしいから、「これはインターネットか？」と聞くと「はいそうです」と。そのインターネットの文章、誰が書いたのか、裏づけの資料は何か、って聞いたつて、全然わからないんだよな。せつかくいいこと書いてあるんだけど結局、一種の盗作みたいなやつちゃつて一切説明できない。

インターネットに「面白くないことが書いてあつた」つて、その、発想だけいただけばいい。それで本当にそうなのかどうか自分で調べなきゃいけないだろ。そのときに本を使つたりいろいろ手段がでてくる。

インターネットでいろいろ調べることはすくいいんだよ。それを手がかりにしてまた自分で図書館にある本とか、その他の本で調べ。いいレポートを書きたかつたら自分でも本を使って調べて、自分で考えて、そして書かなくてはダメだ。

最後に言いたいの

◆最後に言いたいの、教員になつて一番やりがいを感じたときつていうのは？
——やりがいを感じたとき？ まあいろいろあるけど、やっぱり教室で言えば、学生がまじめに一生懸命聞いてくれると、「ああ、やらなきゃいけない」と思うよな。

「携帯電話から少し離れたら」つていうことも言いたいの。最近驚いたのは、すぐそばにいながら携帯でやりとりしたりメールしたりして

いる。電車の中で並んでやつてる。だから人間づき合いが下手になつちゃうんだ。お互いに顔を合せ

読む書くが大切だ

インターネット、携帯に頼りすぎるな

——あんまり無理するな。当てが外れたなんてことになるかも知れない。(笑)

学園祭に感動 図書館が好きだった

私は日本に来てそろそろ一年になる。この一年間で皆さんのいい思い出ができ、帰ってもきっと忘れないだろう。最初、私は日本語があまり上手ではなかったし、友達もいなかった。とても辛かった。しかし、学校の先生とクラスメイトにいつも助けてもらい、非常に感動した。この一年間でいろいろな授業を受け、日本の文化を深く理解してとても有意義だった。

この一年間毎日充実していた。授業を受けたこと以外に、バスケットボール部に参加した。部活でたくさんの友達が出来たし、日本人と一緒にバスケットをしたのはとても楽しかった。



天津師範大学からの交換留学生 **王 珂** (ワン・ク)

そして、私は学校の図書館がとても好きでいつも本を読みに行っていた。図書館は大きいし、本も多い。毎日ここで本を読めるのはいいなあと思った。

また、11月の学園祭も参加した。日本の学園祭に参加したのは初めてだったので、とても楽しかった。学園祭では皆お店を出したり、研究成果を発表したり一生懸命頑張っていて大変感動した。

日本に留学して本当に良かったと思う。中国に帰っても周りの人に日本のことを話して日中友好の為に少しでも貢献出来るように頑張っていきたい。

このように、今回の体験は一日毎にカルチャーショックを受ける旅であった。水道水が飲めないことや慣れない食事には苦労もした。しかし、どのようなことでも私の人生の中でプラス要素になったことには違いない。この体験を通して自分が持つ世界観が変わったように思う。一生忘れることのない貴重な体験であった。いつの日かまたバックパックを背負ってカルチャーショックの旅に出ようと思う。

【文化交流体験・1面の続き】

トから再びバスに乗りシエムリアップへと向かった。ここから悪路が始まり、砂埃を巻き上げながら走るバスは激しく揺れた。途中でバスが故障して何度か止まった。しかし、バスの車窓からは地平線が綺麗に見えるので嬉しかった。

三つ目は念願のアンコール・ワットを鑑賞したのだ。実物はビデオやガイドブックで見た印象よりも遙かにスケールの大きいものであった。また、早朝にアンコール・ワットを訪れ、朝日も見る事が出来た。アンコール・ワットで見る朝日は大変綺麗であり感動的だった。

このように、今回の体験は一日毎にカルチャーショックを受ける旅であった。水道水が飲めないことや慣れない食事には苦労もした。しかし、どのようなことでも私の人生の中でプラス要素になったことには違いない。この体験を通して自分が持つ世界観が変わったように思う。一生忘れることのない貴重な体験であった。いつの日かまたバックパックを背負ってカルチャーショックの旅に出ようと思う。

編集後記

◆今回から、編集に参加させてもらうことになりました。初めてのことばかりで、右も左も分かりませんが、地道にこつこつとやっていたいと思います。季節は春ということと、毎日温かい日が続きますね。『春眠暁を覚えず』という故事成句があるくらい、ぼかぼかした日差しを浴び、眠くなってきました。授業中に眠気をこらえるのも、つらくなってきましたね。さて、これからも頑張って編集をしていきたいと思うので、宜しくお願いします。次号もお楽しみに！

◆大学生の長い春休みを経験し、気持ちも新たにまた新学期。去年の履修登録では分厚い授業概要の本を持ってあたふたしていましたが、今年は授業感想を役立ててスムーズに登録できそうです。そして、ロンゴの先輩方、ご卒業おめでとうございました。編集部に参加したところからずっと言っていました。先輩方がいないとやっぱり寂しくなります。時間があっという間でもここに遊びに来て下さいね。(佐々木美和)

◆茨城が好きだなあ。海があつて山があつて原っぱがあつて川がある。電車は30分に1本、1時間に1本だけけれど十分満足。たまに東京で遊んで満員電車で潰され、人ごみに紛れるとハラハラドキドキキョロキョロ。やっぱり生まれ育った環境。見慣れた景色が心地良い。そんな私は、あまり大きくなって周りには何も無い大鵬、のんびりしているキリ大が好きでした。ここで学び、4年間を過ごして少しでも自分を知ることができました。長年の教師嫌いも改善され、私を成長させてくれたのは出会った先生方、友人たちのおかげです。これからも人との出会いを大切に『茨城ラブ』でいこうと思えます。(戸田亜希子)

◆就職決まりました！これで行くか四月から新しいスタートが切れそうです。タイに支社のある旅行会社です。実際にバンコクのオフィスにも行って挨拶してきました。いつも小汚い格好で歩いていたバックパッカーの聖地(と呼ぶ人もいる)カオサンロードの泊百バツ(約400円)の安宿からネクタイ締め、靴磨いて。それからチャオプラヤ川を下ってオフィスに向かうのは不思議な気分でした(笑)。ゲストハウスのおぼちゃんも珍しいものを見るような目つきでジロジロ見ていました。タイで働く予定だと言うと「それじゃあ働きに来たらまた遊びにおいで」と言ってくれて嬉しい限りでした！



◆家が中にてんとう虫が入っているのを見つけた。あー春だなあと春の訪れを感じました。ペランダにもてんとう虫が5、6匹いましたが、突風と落雷があつたため、てんとう虫が飛ばされたかと思うと残念でした。暖かい春が近づくと先先輩方が卒業する日もせまってきました。悲しいですが、先輩方のことは忘れません。ありがとうございます。(松本千里)

◆私がロンゴロンゴの編集作業に参加したのは去年の4月からでした。最初の仕事は就職活動の報告記事を書くことでした。その記事を頼まれたとき私はまだ就職先が決まっておらず、記事を書くのが非常に憂鬱だったことを覚えています。今ではそんなこともあつたなどというくらいに思い出ですが、その当時は先が見えない就職活動で不安の塊だった自分がいたことは事実です。つくづく時間がたつのは早いなと実感しています。この調子でいくと今年もあつという間に過ぎて行くのだらうと予想しています。子供のころと比べると自分の時間の流れが4倍くらい速くなっているように感じます。このままではすぐにオジサンになつてしまいそうです。ただのオジサンにならないように目標を持って着実に壁を乗り越えながら人生を歩んでいきたいと思っています。今は早く暖かい季節にならないかなというのが日々の悩みですが、この悩みもすぐに解消しそうです。(沼田庄平)

◆文化交流学科のコミュニティ・ペーパーです。新年度にあたり、編集部員を募集します。関心のある人は、いつでもいいのですが、なるべく4月中にご連絡ください。◆編集部のメールアドレス rongorongo_hensyuowner@ahoogroups.jp

◆今年も、夏のカンボジア・ボランティアを実施します。4月中に準備に入りますので、関心のある人は今すぐご連絡ください。 tujita.s@icc.ac.jp (藤田悟)

◆文化交流学科のコミュニティ・ペーパーです。新年度にあたり、編集部員を募集します。関心のある人は、いつでもいいのですが、なるべく4月中にご連絡ください。◆編集部のメールアドレス rongorongo_hensyuowner@ahoogroups.jp

◆今年も、夏のカンボジア・ボランティアを実施します。4月中に準備に入りますので、関心のある人は今すぐご連絡ください。 tujita.s@icc.ac.jp (藤田悟)

◆文化交流学科のコミュニティ・ペーパーです。新年度にあたり、編集部員を募集します。関心のある人は、いつでもいいのですが、なるべく4月中にご連絡ください。◆編集部のメールアドレス rongorongo_hensyuowner@ahoogroups.jp